

趙寒陽老師交流會

チャン・ビン二胡演奏団
学習会 IN北京

実施報告書



チャン・ビン二胡演奏団は小学生から70歳代までの二胡愛好家で構成されています。職業や二胡の経験年数、レベル、練習環境は各々異なりますが、二胡を愛する気持ちは皆同じです。

今回、本場 中国において著名な二胡演奏家をお招きした学習会はそんな熱心な団員にとって貴重な学びの場となりました。

交流会実施内容

期日	平成19年12月8日(土)20時～
場所	中国 北京市内
参加者	チャン・ビン二胡演奏団員 70名
協力	趙寒陽文化芸術中心 チャン・ビン音楽企画

目的

- ・ 中国の著名な二胡演奏家との交流会を通じて演奏団員の技術・資質の向上を目指します。
- ・ 交流会ならではの間近だからこそ知る・見る・感じることのできる演奏家の技法を学び取り、自身の課題設定の場とします。
- ・ 中国の有名な楽曲を生演奏で聴くことで、二胡の音色の美しさ・やさしさ・繊細さを再発見し、音楽的感性を磨きます。
- ・ 日中友好の交流を深めます。
- ・ 演奏団員相互の親睦を図る機会とします。



紅葉



茉莉花

趙寒陽老師プロフィール



- 中国江蘇省常州市生まれ
- 著名な二胡演奏家・教育家
- 現在中国中央音楽学院民族音楽学部長、主任教授、民族音楽研究科修士課程指導教官
- 中国音楽家協会会員
- 中国人材研究会芸術家学部委員
- 中国二胡学会副理事長
- 中国民族管弦楽学会理事

趙寒陽老師は全国二胡考級專家委員會委員でもいらっしゃいます。団員は日常の学習に「全国二胡演奏(業余)考級作品集」という教本を使用しています。この教本には趙老師が作曲された練習曲が多数掲載されています。

今回の学習会をきっかけに初めて教本の作曲者を意識した団員も多いはずですが、そして教本に掲載されている作曲者にお会いできるという価値はとて大きく貴重な体験です。



趙寒陽老師演奏



演奏団員のために10もの楽曲を演奏してくださいました。

既に学習した曲、これから学習する曲など、ほとんどが教本掲載曲でした。

これは大変勉強になります。

1. 良宵 (4級掲載曲)
2. 空山鳥語 (7級掲載曲)
3. 金珠瑪米贊
4. 江南春色 (8級掲載曲)
5. 三門峽暢想曲 (9級掲載曲)
6. 河南小曲 (7級掲載曲)
7. 陝北抒懷 (6級掲載曲)
8. 江河水 (7級掲載曲)
9. 一枝花 (10級掲載曲)
10. 藍花花叙事曲 (9級掲載曲)



無伴奏での演奏であったため、純粋な二胡の音色を聴くことができました。二胡の演奏で大切だと言われている心のリズム・フレーズ(息)を感じ取ることができました。



趙老師の演奏で一番印象に残ったのは指のなめらかさです。弦の上にある指は弾いているというより、まるで指が音に導かれているようでした。



チャン・ビン二胡演奏団演奏

趙老師作曲の教本に掲載されているポジション移動の練習曲を演奏しました。上級に進むにつれ、ポジション移動は必須となります。これはその基本となる練習曲です。多くの団員はこの学習会でかつて学習したこの練習曲を再度復習してこの演奏に臨みました。基本を何度も復習することは上達につながります。



次に日本の名曲「紅葉」を演奏しました。日本の美しく色染まった山里の紅葉を思い浮かべて演奏します。趙老師にこの風景を伝えることができたでしょうか。

演奏団を代表して張日妮さんが「豫北叙述曲」を演奏しました。趙老師の表情も真剣です。

ポジション移動練習曲を趙老師ご自身も演奏してくださいました。人の一生をイメージして演奏しますが、感情を込めすぎると悲しい曲になりがちです。趙老師が弾くと希望を秘めた曲に聞こえます。二胡の音色で感情を表現することは団員にとって今後の課題の一つです。



趙寒陽老師よりDVDをいただく

趙老師よりご自身の演奏DVDをいただきました。演奏団員全員分をご用意くださいました。二胡の名曲「二泉映月」を始め8曲が収録されています。

趙寒陽二胡独奏專輯珍藏版 —《鄉音》—

1. 秦腔主題隨想曲
2. 豫北敘述曲
3. 鄉音(趙寒陽老師作曲)
4. 漢宮秋月
5. 閑居吟
6. 病中吟
7. 二泉映月
8. 薰風曲



無伴奏なので二胡の音色だけを聴くことができ、学習用としても最適です。

中国の楽曲は素晴らしい曲がたくさんあります。いろいろな楽曲を聴くことは自身の二胡の世界を広げます。



団員は“いつかは弾けるようになりたい曲”という目標の曲をそれぞれが持っています。今回いただいたDVD収録曲の中にその目標とする曲がある団員もいることでしょう。目標を持つことは上達につながります。



交流会で学んだこと



Iパートメンバー



IIパートメンバー



IIIパートメンバー



IVパートメンバー

趙老師との学習会で私たち演奏団員は多くのことを学びました。そして今後どんなことに気をつけて練習に励んでいけばよいのか、改めて気づくことができました。

- 一曲一曲を丁寧に弾くこと
- 曲に心を込めること
- もっと集中して弾くこと
- 一曲をたくさん引き込むこと
- フレーズ(息)の大切さ
- 指・手首の動きのなめらかさ
- 基本を復習することの大切さ

これらは張濱先生のご指導の中でも何度も注意を受けていることです。しかし、こうやって団員自身が目で見て、聴いて、感じ取り、課題を再認識する意義はとても大きいです。今回このような体験を与えてくださったことに感謝するとともに、この学習会で学んだことを個人、そして演奏団のレベル向上に活かしていきたいと思えます。そして私たちの演奏する二胡の音色が日中友好の架け橋となることを願っています。

